

本県には「本田圭佑クライフコート」と呼ばれる、本田選手の活躍を称えヨハン・クライフ財団が贈呈した、全面人工芝のピッチがあります。障害者を対象としたスポーツ活動支援を目的とする財団の意向があり、本県の特別支援学校でのスポーツ活動実践が検討され、平成24年より本田



相手ゴールを目指してボールを追い掛ける生徒

本田選手ゆかりのコートでサッカー交流戦

圭佑クライフコートを人の自信や勇気につながる使用した県内2校でのサッカー交流戦が始まりました。平成30年には隣県で福井しあわせ元気大会

主なルールはキーパーなしの6人制、試合時間は4分、審判に申告せず自由に選手交代ができる、キックインやゴールキックの際は相手選手から2メートル離れる、などです。昨年8月に開催した交流戦では3校6チームによる総当たり戦全15試合を、勝ち点および得失点差で争うとともに、他校生との交流も楽しみました。

子どもたちが安全かつ気軽にサッカーができ、交流を通して互

当日の生徒たちは、汗を流しながら一生懸命ボールを追い掛け、また、選手同士でハイタッチをしてお互いのプレーを称賛するなど、交流戦ならではの貴重な経験をすることができました。それら立いしかわ特別支援学校のことは、生徒一人一校教諭

（岡田直道・石川県

のことは、生徒一人一校教諭